

理念：看護専門職として自律性の高い看護師を育成する。

- 指針：1.看護の対象者に心から関心を寄せ、安全で確実な看護技術を提供できる看護師を育成する。
2.自己の役割を認識し、チーム活動を通して自己成長できる看護師を育成する
3.変化する社会の動向に関心を持ち、主体的に自己研鑽できる看護師を育成する。

2018年度看護部教育委員会研修計画												
	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
新人	◎新人オリエンテーション 目的：組織における役割・心構えが理解できる。 目標：当院の看護部の概要が理解できる。(4/3～7) ◎輸液ポンプ・シリンジポンプの取り扱いについて 目的：輸液ポンプ・シリンジポンプ使用時の看護ができる。 目標：器械の操作ができ、看護上の注意点を明らかにすることができる。(4/24)	◎感染 吸引時の看護 目的：感染予防の視点で看護援助の実践ができる。 目標：口腔・鼻腔・気管内吸引の目的・留意点がいえる。(5/8) ◎導尿・膀胱留置カテーテルについて 目的：導尿・膀胱留置カテーテル挿入・看護の基本的知識・技術を習得することができる。 目標：導尿・膀胱留置カテーテルの目的がいえる。(5/29)	◎夜勤について 目的：夜勤業務に入ることができる。 目標：夜勤に対する不安が軽減する。夜勤業務の不明点を抽出し、解決できる。(6/5) ◎新人3ヵ月研修 目的：同期の仲間と意思を共有して、新たに意欲を高めることができる。不安や困ったことに対して具体的に行動できる。 目標：6ヵ月後の「なりたい自分の姿」を考え、目標にできる。(6/26)	◎急変時の看護について（前編） 目的：急変時の挿管時の看護を習得することができる。 目標：急変時の挿管の準備・流れ・援助が理解できる。(7/3) ◎急変時の看護について（後編） 目的：急変時の連絡・相談・報告の方法が理解できる。 目標：様々な急変時の対応を知り、自己にどうするべきか考えることができる。(未定) ◎呼吸器看護について（前編） 目的：人工呼吸器について基本的な設定や準備などの呼吸器の管理を理解する。 目標：基本的な用語の理解ができ、人工呼吸器の苦手意識がなくなる。 ◎呼吸器看護について（後編） 目的：呼吸器使用中の患者の看護ができる。 目標：呼吸器使用患者の状態についてアセスメントする能力を養うことができる。(未定)	◎輸血看護について 目的：輸血についての基本的知識・技術を習得する。 目標：輸血方法、輸血の管理、看護上の注意点を理解することができる。(8/7) ◎医療用麻薬について 目的：麻薬についての基本的知識・技術を習得する。 目標：麻薬の効果・副作用を学び、看護上の観察点が理解できる。(8/21)		◎新人6ヵ月研修 目的：同期とコミュニケーションを図り、リフレッシュが図れ新たに意欲を見出すことができる。 目標：不安や悩みを表出することができる。自己を振り返り課題を明確にできる。(10/16) ◎日帰り研修 10/25		◎新人9ヵ月研修 目的：1年目の看護技術習得の評価ができる。 目標：技術チェックリストの評価、評価できていない項目について計画の修正と立案ができる。(12/4)			◎新人12ヵ月研修 目的：組織人・社会人としての成長を振り返ることができる。 目標：2年目に向けて、自己の成長を評価でき今後の課題を明確にできる。(3/3)
ラダーレベルⅠ	目標 2017度の研修で明らかとなった地域包括ケアシステムの中で求められる、自施設及び部署の看護の役割、課題に取り組み、地域の医			取り組み開始			◎事例発表会 目標：1事例を通して、多職種の連携と退院支援について理解できる。(10/23)					
ラダーレベルⅡ				取り組み開始			◎事例発表会 目標：1事例を通して、看護理論をもとに意図的関わりで退院支援ができる。(10/23)					
ラダーレベルⅢ	目的 ①病院の理念を念頭に、地域医療への関心を深め、看護師の意識変革・活動範囲の拡大につなげる。 ②部署の連帯感を強化し、課題解決能力を高め、質の高い看護の提			取り組み開始			◎活動報告会 目標：昨年度課題として提起された内容)課題解決への取り組みを複数の症例や調査結果などを集約し、標準化や新規活動内容の立案ができる。11/6 13					
ラダーレベルⅣ				◎活動報告会(前編) 取り組み開始 目標：目標や課題を、理論を用いて解決に導き、適切な評価・修正を行うことで、看護管理能力を高めることができる。(ラダーレベルⅠ～Ⅲの研修課題と運動)(7/10)				◎活動報告会(後編)12/11				
プリセプター	◎「人間関係」 目的：プリセプティ個々の特性を踏まえた指導スタイル・精神的支援の方法が理解できる。 目標：プリセプティの個々の特性を分析方法を用いて見極め、指導スタイルや精神的支援の方法を知ることができる。 プリセプティの心理状況と成長段階、職場への適応状況を捉えることができる。(4/26)	◎「アサーティブ」 目的：人間関係を円滑に保つための効果的なコミュニケーション方法について理解できる。 アサーティブを用いたコミュニケーションや支援方法を学ぶ。 目標：今までのコミュニケーション方法を振り返る。 アサーティブコミュニケーションを学び、自分も相手も大事にしたコミュニケーションの方法を獲得できる。(5/24)	◎「コーチング」 目的：人間関係を円滑に保つための効果的なコミュニケーション方法について理解できる。 コーチングを用いたコミュニケーションや支援方法を学ぶ。 目標：今までのコミュニケーション方法を振り返る。 コーチングコミュニケーションを学び、コミュニケーションサポートの必要性を理解・実践できる。6/28	◎3ヵ月研修 目的：プリセプターとしての悩みや不安に対して解決の糸口がつかめ、対応することができる。 自己を振り返ることでプリセプターとしての役割を再確認できる。 目標：プリセプターとしての悩みや不安を、プリセプター間で表出することができ、問題の共有・解決策を立案できる。 チェックリストを用いて自己評価し、プリセプターとしての自分自身を振り返ることができる。(7/26)	未定(8/23)	未定(9/27)	◎日帰り研修 目的：プリセプティと共に成長できたことを確認し、今後の課題を明らかにする。 目標：日帰り研修でのプリセプターとしての関り、目的を理解し援助ができる。 プリセプティとの信頼関係を強化できる。(10/25)	未定(11/22)	◎9ヵ月研修 目的：自己を振り返ることでプリセプターとしての役割を再確認できる。 目標：9ヶ月を振り返り、チェックリストにて自己評価し、プリセプターとしての自分自身を振り返ることができる。(12/27)		◎修了研修 目的：プリセプターとして、自己の成長について振り返ることができる。 目標：プリセプターとしての役割を通し、一年間の振り返りができ、今後の課題を明確化できる。(2/28)	
その他 全レベル対象				集合研修1(在宅療養・訪問看護についてパートⅠ)						◎集合研修2(在宅療養・訪問看護Ⅱ)		